

## タイトルタイトルタイトルタイトルタイトルタイトル

## Title Title Title Title Title Title

研究 太郎 / Taro Research

## 1 はじめに

大学でもっとも重要なのは論文・レポートを作成するということである。論文をきちんと書く能力を身につけずに社会に出ることは、大学卒の肩書きはあってもその能力に欠けているということを示すものに他ならない。というのも、論文を執筆するという作業は、自らの思考を論理的に構築し、それを他者（読者）に伝達する「プレゼンテーション能力」「コミュニケーション能力」そのものであり、多少、口先がうまいという程度ではなく、きちんとしたリサーチと分析・理解を踏まえた、論理的な思考の構築の過程を表現することが求められるからである。

## 2 図表のベストプラクティス

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を使いこなすにあたり、図表の活用は重要である。基本的には LaTeX Wiki [1] を参考にすれば問題ない。

## 2.1 図

図を挿入する場合は、図 1 や図 2 のように引用することができる。図の横幅が大きい場合は、図 2 のようにすることもできる。

ちなみに、L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X ではベクターファイルとして EPS ファイルを推奨していた頃もあったようだが、現在は PDF ファイルを使用することが推奨されている。PDF ファイルに出力するのが前提なら、dvipdfmx では PDF, PNG, JPEG がそのまま使用できる。dvipdfmx は EPS ファイルそのものを自分で扱えないので、Ghostscript を内部で呼び出して変換する。PDF ファイルで問題がなければ EPS にこだわる必要はないと思われる。ただし、ジャーナルによっては図として PDF を使うのがダメだったりするので慎重に。

## 2.2 表

表は表 1 のように引用ことができ、表を作成する場合は罫線を少なくすることと、横線のみを使用を心がけることが推奨される。

## 3 研究者にとっての論文十箇条

論文を書くことは大切だ必要だ、と周囲から言われる。それは自分でも分かっているつもりだけれど、その理由をはっきりと伝えてもらえる機会は少ない。研究者にとっての論文十箇条 [2] は、とてもシンプルでわかりやすく、非常に心にきた。一度目を通して見るべきであろう。



図 1 悩む男子

表 1 代表的なデータの型

データの型	宣言	ビット幅
短整数型	short	16
整数型	int	32
単精度浮動小数点型	float	32
倍精度浮動小数点型	double	64

1. 書かれた論文は書いた人の研究者としての人格を表す
2. データのみ出して論文を書かない者は、テクニシャンである
3. データも出さず、論文（原著論文）を書かない者は、評論家である
4. 研究者は論文を書くことによって成長する。また、成長の糧にしなければならない
5. 論文は研究者の飯のタネである
6. 論文は後世の研究に影響を与えなければならない
7. 研究者は書いた論文に責任を問われる
8. 忙しくて論文が書けないというのは、言い訳にはならず、能力がないといっているのと同じである
9. 博士論文以上の論文を書けない者は、その博士論文は指導教官のものといわれても仕方がない
10. 研究において最も重要なのはアイデアであり、それが試されるのが論文である



図2 ドライブする家族

## 参考文献

- [1] Latex Wiki (<https://texwiki.texjp.org/>).
- [2] 渡辺 豊, "角皆静男先生のご逝去を悼む", 地球化学, vol.50, no.1, pp.1-3, 2016.